

(2023) 年度

人権教育基本方針と運営方針 (案)

- 1 人権教育基本方針
- 2 本年度の運営方針
 - ① 運営方針
 - ② 実践方針
 - ③ 具体的な実践
 - ④ 教職員人権教育研修計画
- 3 本年度の重点目標
- 4 人権教育LHRの年間計画

金光八尾中学校
金光八尾高等学校

人権教育基本方針・運営方針(案)

1 人権教育基本方針

人権教育基本方針

金光八尾中学校・高等学校

(1) 人権教育の目標

日本国憲法・教育基本法の精神に則り、全ての教育活動のなかで、人権尊重の精神の涵養に努め、^{のつと}基本的人権の尊重の精神を正しく身に付け、部落差別をはじめ、一切の差別を許さない実践力をもった人材の育成を図る。その実践にあたっては、生徒の発達段階に応じ、多様な機会をとらえ、計画的・効果的に指導方法の工夫・改善に努める。それらの基本となるものは、「人はみな神の氏子である」という建学の精神、それに基づく人間平等・個性尊重・心を育てる教育と大阪府人権教育基本方針並びに人権教育推進プランなどである。

(2) 人権教育と教科領域等との関連

① 教職員研修

一人ひとりの教職員が、すべての活動で人権尊重の精神をふまえた人権教育を推進するという自覚をもち、研修を積み重ねて、人権教育についての認識を深め、資質の向上に努める。

② 教科指導・道徳教育・特別活動

各教科及び道徳教育及び特別活動の指導を通して、豊かな感性を育て、自己実現を図り、自他の人格、人権を認め、尊重し合う生徒の育成に努める。

③ 生徒指導

生徒一人ひとりの生活実態を正確に把握し、生徒の思いや抱えている問題を受け止め、きめ細かい指導を行う。また集団生活の中で、協調性と自立性を持って行動できる生徒の育成を目指すとともに、いじめや不登校問題などの防止に努める。

④ 自主活動

HR活動や生徒会活動・クラブ活動などの自主活動の場を通し、自治能力を養い、生徒が互いに仲間として尊重し、共に高め合い支え合う中で、自己表現が豊かにできるような集団づくりに努める。

⑤ 進路指導

生徒の進路を保障しうる学力の向上を目指し、さらに生徒の能力、適性に応じた進路指導の充実に努める。また、進学・就職に関わる人権侵害を許さない姿勢を貫く。

⑥ 保護者への啓発

生徒の意識に与える保護者の影響力は極めて強いことから、様々な機会を利用して、本校が推進する人権教育について、保護者への理解・啓発を積極的に行う。

2 本年度の運営方針

① 運営方針

学校経営方針（Ⅱ－１－オ）に基づき、人権尊重の視点に立った指導があらゆる教育活動の中で実施されるよう努める。そのため、教職員が人権感覚を踏まえた行動、指導ができるように努力し、人権教育LHRの質的向上を目指す。

② 実践方針

(1) 人権教育推進体制の充実

- ① 人権教育推進委員会を定期的に開催し、各学年の人権課題の解決と人権教育LHRの内容を収集し、実施上の問題点を探る。
- ② 各学年会で、人権教育LHRの内容について意見を出し合いながら、共通理解をし、実施がより一層スムーズにいくようにする。
- ③ 教職員人権教育実践アンケートと生徒の人権教育アンケートを基に、改善点を考え、本年度に生かす。
- ④ 人権教育LHRの資料を人権教育のフォルダに残し、継続的に資料作成ができるようにする。

(2) 教職員人権教育研修の充実

- ① 人権教育の教職員研修の計画と内容の充実を図る。
私学人研夏期研究会の紙面報告や年度末の教職員人権教育研修を充実させる。
- ② 学校主催の人権教育研修と連携し、その充実に努める。
- ③ 教員間のセクハラ、パワハラなどハラスメントの根絶に努める。もし、そのような行為があれば、校内分掌組織のハラスメント対策相談窓口に申し出る。

(3) 生徒に接する教職員の態度

- ① 教職員は、全教育活動において、生徒の生活実態を把握するとともに、一人ひとりが鋭い人権感覚をもち、協力して指導にあたる。
- ② 教職員は、人権の視点をふまえることにより、生徒と望ましい人間関係をつくるように心掛け、セクハラやパワハラなどハラスメントの根絶に努める。

(4) 各教科、領域等での指導

- ① 日々の教科、領域等で、人権に配慮した指導を実践する。
- ② 人権教育LHRでは、人権に対する知的理解はもとより人権感覚を養い、それが日常の行動へと結びつき、変革できるようにするため、可能な限り参加体験型の授業を取り入れ、工夫する。

(5) 関係機関との連携

- ① 私学人研主催の春期・秋期の新任教員研修会、事務職員研修等への参加
- ② 私学人研夏期研究会への参加
- ③ 私学人研高校第4部会と義務教育第2部会年度末研究発表会への参加
- ④ 義務教育第2部会年度末研究発表に向けての準備

(6) 人権教育の継続と発展

年度末に、人権教育についてのアンケート（教職員及び生徒）をおこない、その結果をまとめ、課題を次年度の計画に生かす。

③ 具体的な実践

(1) 人権教育推進体制の充実

- ① 人権のフォルダに使用した資料をすべて登録し、人権教育推進委員がすぐに活用できるようにする。
- ② 人権教育関係の図書と資料を充実させる。
- ③ 担任のみならず副担任も協力して、人権教育LHRに取り組む。
- ④ 問題により、いじめ不登校対策委員会と連携する。

(2) 教職員人権教育研修の充実

- ① 学校主催の人権教育研修に協力する。
- ② 私学人研主催の春期、秋期新任教員研修会へ参加する。
- ③ 私学人研主催の事務職員研修等に参加する。
- ④ 私学人研主催の夏期研究会の内容を教職員に伝達する。（紙面報告）

(3) 生徒に対する人権教育

- ① あらゆる教育活動の場面で、人権をふまえた指導が行われるようにする。
体罰、過度の叱責等の禁止。
- ② 人権感覚は、言動、態度等に表れることを忘れない。
言葉による人権侵害に注意する。
- ③ いじめのない学校、学級を目指す。
生徒の観察と情報の収集、生徒の訴えに十分注意。保護者対応に留意。
- ④ 不登校生の減少に努める。
欠席に敏感になり早期発見、安心、安全な学級づくり。保護者、関係機関との連携。
- ⑤ 人権教育LHRは人権教育のまとめの時間と考え、より深く考えられるように工夫する。

④ 教職員人権教育研修計画

4月	・人権教育基本方針・教職員研修計画の作成 ・各学年の年間人権教育LHR計画の作成
5月	・春期新任教員研修会（私学人研） ・事務職員研修会（私学人研） ・推進委員研修会（私学人研）
6月	・校内 教職員研修会 ・校内 新任教職員研修会
8月	・夏期研究会（私学人研）
10月	・管理職・保護者代表研修会（私学人研） ・推進委員研修会（私学人研） ・秋期新任教員研修会（私学人研 高校第4部会）
11月	・校内 人権・文化講演会
1月	・各学年の人権教育LHR総括アンケート実施 ・教職員の人権教育総括アンケート実施
2月	・年度末研究発表会（私学人研 高校第4部会） ・年度末研究発表会（私学人研 義務教育第2部会）
3月	・校内 教職員人権教育研修（人権教育総括）

3 本年度の重点目標

(1) 「いじめ」のない・不登校生のいない学校をめざす。

- ① 生徒とのあたたかい人間関係の構築に努める。
- ② 居場所となる思いやりのある学級づくりに努める。
- ③ 生徒との個人懇談を継続的に行う。
- ④ 生徒の欠席・遅刻・早退など、その動向に敏感になる。
- ⑤ 生徒の情報をすぐに各学年で共有し、必要に応じて人権教育推進委員会に報告する。
- ⑥ 不登校に陥った生徒には保護者と連携して対応する。
- ⑦ 生徒同士のLINEやSNSのやり取りなどから起こる問題を注意し、いじめ問題が起こらないよう指導する。

(2) 障がいのある生徒・外国籍の生徒に対するいじめ・差別が起こらないよう指導する。

- ① 障がいのある生徒について、その障がいの状況を正確に把握し、どのような「配慮」が必要かを検討する。
- ② 外国籍の生徒について、その生徒の状況把握に努め、その生徒を取り巻くクラスの人間関係を注視する。
- ③ 生徒に関する情報を各学年・教科担当者と共有し、指導法について共通認識を持つ。
- ④ 生徒の学校での様子を保護者に必要に応じて連絡し、保護者との連携を密にする。

(3) 今年度の人権教育研修

・教職員研修会（生徒指導部共催）

6月14日(水)

演題 「発達症特性のある子どもの理解と支援について」

講師 梅花女子大学 伊丹 昌一氏

・人権・文化講演会

11月21日(火)

未定

4 人権教育 LHR の年間計画

(1) 中学校

学期	実施	学年	学習の主題	内 容
1	4/18	1	「私の好きなこと」	「私の好きなことを話し合い、お互いを知り合い、わかり合う」を主題に正直に書くことを強調。グループ内で互いに発表し、その都度質問していく。
		2	「流れ星」	白紙に絵を描く。質問は一切受け付けず、書き直しは出来ない条件で、教員が口頭で内容を伝え、描かせる。後で互いに絵を見せ合う。伝える側、聴く側の「確認」することの大切さを学ぶ。
		3	「平和学習①」	「戦争」とは何か、起こるとどうなるのか、なぜ起こるのか、「人権」とどう繋がるのかを考える。途中、動画視聴をして、理解を深める。
	5/25	1	「サバイバル」	全員が納得することができる「決定の仕方」を学ぶ。6人程度のグループで、山岳地帯で起きた出来事に対する3つの質問を、ルールを守ってグループで正解を探し決定する。多数決ではないお互いが納得しあう「合意のスキル」が正解を導くことを学ぶ。
		2	「LGBTQ 性的マイノリティ の人権」	L：女性の同性愛者、G：男性の同性愛者、B：両性愛者、T：身体の性と心の性の不一致、どちらの性別にも違和感を持つ人、Q：心の性や恋愛対象が揺れ動く、分からない人。自分らしく生きる。いじめや差別を受け苦しんでいる人がいる現実を知る。
		3	「平和学習②」	日本が関わった第2次世界大戦から「沖縄戦」までの流れを学び、「沖縄戦」のことについての調べ学習の準備をする。
	6/20	1	「LGBT 講話」	講師に、藤原直氏を招き、LGBT 基礎知識・経験談などの講演をして頂く。
	6/27	2	「見たくない映画に 誘われたら」	自分の考えや気持ちを表現する方法のディフェンシブ（消極的）・アグレッシブ（積極的）・アサーティブ（爽やか）の3種類を、ロールプレイを通して学ぶ。
		3	「平和学習③」	調べてきた「沖縄戦」について、グループで模造紙にまとめていく。

学期	実施	学年	学習の主題	内 容
2	9/19	1	「あなたの言葉遣いは大丈夫？」	日常生活の中でのワンシーンを会話表現し、正しい言葉遣いに直してみる。またTPOに応じた言葉遣いなども考えてみる。
		2	「ある女子高生の話」	資料を熟読した後、設問に答え、グループ討議も交え曖昧な情報や偏見により、摩擦やトラブルが発生するメカニズムの一端に触れ、情報の読み解き方を学ぶ。
		3	「平和学習④」	修学旅行で訪れる沖縄の平和記念公園において、読み上げる「平和宣言」と、平和を祈念して捧げる「千羽鶴」を作成する。また、施設見学を通して、戦争の恐ろしさ、被爆者の思いなどを学ぶ。
	10/17	1	「こころのグラフ」	人の心を5つに分類する。エゴグラムのもっと高いところと低い所に注目する。年齢や発達段階のこころのしくみは時期に応じて変化することを学ぶ。
		2	「メディアリテラシー」	ある新聞記事について、報道内容の読み取り方を学ぶ。読んだ内容を疑う視点をもつことで、どういう情報なのか見極める意識をもつ。
		3	「友だちのいいところ探し」	修学旅行を終え、友だちと3泊4日の寝食を共にしたことで、新しい一面や改めて気づかされた友だちの「いいところ」を書き出す。教員またはグループ間で発表しあい、他者からの声から自分自身に自信を持たせる。
共通	11/21	全校	人権・文化講演会	未定
	12/8	中学全	映画鑑賞	未定
3	1/23	中学全	アンケート	1年間の人権学習に関するまとめのアンケートを実施する。

(2) 高校 1 年

学 期	月 日	学習の主題	内 容	備 考
1	4 /11	アンケート	人権意識アンケート 中学時代における人権教育の内容と いじめについてのアンケート 「考えよう、ケータイ・スマホ」の DVDを視聴しスマホの使い方を学ぶ。	HR教室にて
	4 /18	ちがいを学ぶ	グループごとに、「ダイヤモンドラ ンキング」を実施。他者との価値観の 違いを認め合うことを学ぶ。	HR教室にて
	5 /23	ジェンダー問題	ジェンダーフリーの概念を学習し、 男女「共生」社会のあり方について学 習する。	HR教室にて ロイロノー トを用いて
	6 /20	L G B T 講演会	藤原直さんによる講話。LGBTについ ての講演を通じて、理解を深める。	体育館にて
2	9 /19	障がい者問題①	プリントにて、バリアフリーやノー マライゼーションについて考える。	HR教室にて
	10/17	障がい者問題②	車椅子、アイスマスクを用いて、障 がい者の生活を実際に体験しその中 で、支援の方法を考えさせる。	体育館にて
	11/21	人権・文化講演会		体育館にて
3	1 /23	1年間のまとめ	1年間の人権学習に関するまとめの アンケートを実施する。	HR教室にて Classi利用

(3) 高校 2 年

学 期	月 日	学 習 の 主 題	内 容	備 考
1	4 /18	多文化共生①	身近な例を用いて、多文化共生について考える。	HR教室にて ロイロノート を用いて
	5 /23	多文化共生②	世界の言語に注目し、言語の消滅が文化の消滅につながるということについて学習する。	HR教室にて ロイロノート を用いて
	6 /27	多文化共生③	ことばが通じないことのバリアについて学習し、ことばが通じない人とコミュニケーションをとるためにはどうすればよいかを考える機会とする。	HR教室にて ロイロノート を用いて
2	9 /19	多文化共生④	修学旅行の事前学習として「アイヌ文化」について学習。動画視聴予定。	HR教室にて 動画「アイヌ プリ」視聴。
	10/17	いいところ探し	修学旅行を通じて感じたクラスメイトの「いいところ探し」を行い、今後の学校生活に生かすようにする。	HR教室にて
	11/21	人権・文化講演会		体育館にて
3	1 /23	法と人権	弁護士の方から直接様々な法と人権の関わりについて学ぶ。	HR教室にて
	1 /30	1年間のまとめ	1年間の人権学習に関するまとめのアンケートを実施する。	HR教室にて Classi利用

(4) 高校3年

学期	月日	学習の主題	内 容	備 考
1	5 /23	就職差別	ワークシート「誰を採用する？」を用いて面接官・就職希望者それぞれの立場にたって考える機会をもつ。就職差別について広く考える。	HR教室にて
	6 /27	自分を知る	自身が短所であると感じていることを他者からリフレーミングされることで自己肯定感を高め、他者を受け入れる他者受容の感覚へと繋げる。	HR教室にて
2	9 /19	部落問題①	DVD「そのとき歴史は動いた」を視聴する。部落解放運動、「水平社」設立の経緯などを学ぶ。	体育館にて
	10/17	部落問題②	DVD「あなたに伝えたいこと」を視聴する。結婚における差別や身元調査の話から実態を正しく知ることについて学ぶ。	ホールにて
	11/21	人権・文化講演会		体育館にて
3	1 /15	1年間のまとめ	1年間の人権学習に関するまとめのアンケートを実施する。	Classiにて